



子育て支援のため、「放課後児童対策事業」として、市内全学区で開設している学童保育クラブ。家庭と同じような環境で、放課後の時間を安全に過ごすことができます。

平成26年度

施政方針



桜川市長 大塚 秀喜

平成26年3月4日～17日の会期で開催された、第1回桜川市議会定例会で、本年度の市政運営に向けて、大塚市長が施政方針を述べました。今月号で、その概要をお知らせします。なお、本年度予算の概要については、来月号に掲載します。

◆健全な財政運営の推進
財源確保対策の推進として、納税の公平性の観点から、不良債権に対し、差押えや公売を実施し、収納率の向上を図るとともに、受益者負担の原則に基づき、施設の使用料

◆計画的・効率的な自治体運営の推進
多様化する社会環境に対応できる組織機構の見直しを行い、効率的な行政運営と行政サービスの向上を図ってまいります。

◆市民と行政による豊かな地域の自治づくり
このような状況を踏まえ、本年度予算編成にあたっては、なお一層の経費の削減・合理化に努め、各種事業につきましても、事業の必要性、緊急性、事業効果などを十分に検討し、第1次総合計画に基づいた予算配分を行いました。

◆子育て支援および少子化対策
急速な少子化への対策の取り組みと、子どもたちが、健やかに生まれ育つ環境づくりのために、家庭や学校および民間企業などと連携し、地域子育て支援拠点事業の充実を図ってまいります。

◆健康づくりの推進
生活習慣病・感染症などの疾病予防やこころの健康保持についての意識啓発に取り組み、市民の皆様一人ひとりが「健康は自分で守る」という意識を持ち、自ら参加する健康づくり事業を推進いたします。

◆安心とやすらぎのある健康福祉社会づくり
桜川市の財政状況は、歳入面では、経済情勢や税制改正により、個人市民税・固定資産税・軽自動車税・地方消費税交付金に増収が見込まれます。

◆高齢者福祉の推進
「地域包括支援センター」を中心とし、在宅介護サービスや施設サービスの充実を図るとともに、「高齢者見守り隊」との連携を図りながら、高齢者が安心した生活を送るために、互いに支えあう地域づくりを推進してまいります。

◆地域福祉の推進
市民の皆様へのニーズに即した保健・医療・福祉などの総合的なサービス提供体制を構築するために、社会福祉協議会などと連携を図りながら、誰もが安心して暮らせる社会づくりを推進してまいります。

◆地域医療制度の充実
救急医療体制や医師不足といった、市民の皆様の不安に応えるため、地域医療の充実を進めてまいります。

◆学校教育の充実
「生きる力」を育むという学習指導要領の理念を実現するため、「確かな学力・豊かな心・健やかな体」の調和のとれた子どもに成長するよう地域の特色を活かした教育に努めてまいります。

◆豊かな心と生きがい教育を育む教育・文化環境づくり
普通建設事業につきまして、地区より要望の多い事項や通学路の安全対策としまして、「道路新設改良事業費」「道路維持事業費」を増額いたしました。

平成24年度決算に基づき、財政分析指標においては、実質公債費比率11.2%、将来負担比率102.9%となっております。前年度と比較しますと、各指標とも改善しておりますが、今後も財政の健全化を進めてまいります。

◆予算編成
桜川市の財政状況は、歳入面では、経済情勢や税制改正により、個人市民税・固定資産税・軽自動車税・地方消費税交付金に増収が見込まれます。

◆地方交付税につきましまして
地方交付税につきましまして、将来

◆市債につきましまして、将来
市債につきましまして、将来

◆平成24年度決算に基づき、
財政分析指標においては、実質公債費比率11.2%、将来負担比率102.9%となつております。

◆国の予算に関連して、地方
財政計画が細部にわたり確定を見るに至ってはおりませんが、昨年引き続き、大変厳しい状況での予算編成となりましたが、地域主権のもとでの、国・県補助金を有効に活用し、予算を組むことが出来ました。

◆また、東日本大震災を教訓にし、防災対策としまして、老朽施設の耐震診断を進めるとともに、「橋梁」「道路付属物」「ため池」などの修繕調査を進めてまいります。

◆の財政負担に留意し、計上いたしました。
普通建設事業につきまして、地区より要望の多い事項や通学路の安全対策としまして、「道路新設改良事業費」「道路維持事業費」を増額いたしました。

◆また、東日本大震災を教訓にし、防災対策としまして、老朽施設の耐震診断を進めるとともに、「橋梁」「道路付属物」「ため池」などの修繕調査を進めてまいります。